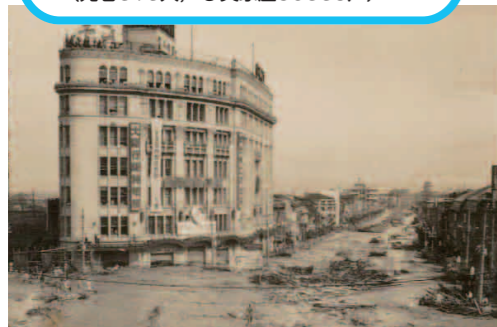


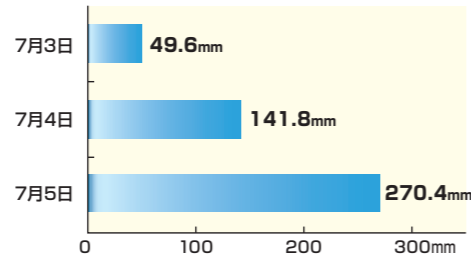
# 兵庫県ひょうご きょうしゅう すいがいの気象と水害

日本列島の大部分の気候の特ちょうとして、初夏のつゆと、夏から秋の台風があげられます。つゆや台風は、ときに大雨をふらせ、川のはらんなど水害を起こすことがあります。

1938年7月3～5日 阪神大水害  
(死者616人、ひ災家屋90569戸)



▲三宮の状況(神戸市中央区) (写真提供 人と防災未来センター)



2004年10月20日 台風23号水害  
(死者95人、ゆくえ不明者3人、ひ災家屋75056戸)

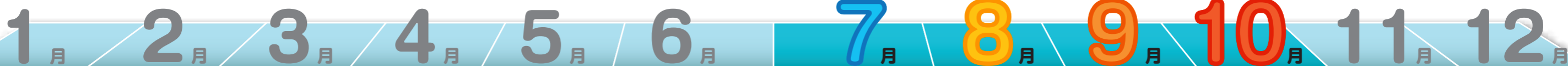


▲豊岡市 (写真提供 神戸新聞社)

2009年8月9日 台風9号水害  
(死者26人、ゆくえ不明者1人、ひ災家屋6948戸)



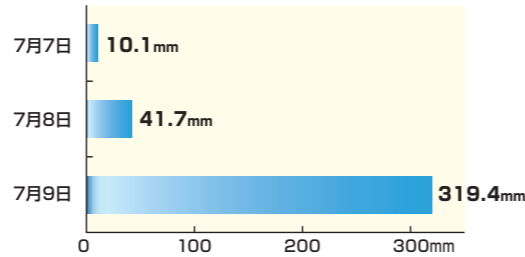
▲佐用町 (写真提供 神戸新聞社)



1967年7月9日 昭和42年の大水害  
(死者77人、ゆくえ不明者15人、ひ災家屋38305戸)



▲神戸市中央区 (写真提供 神戸新聞社)



2011年9月4日 台風12号水害  
(死者78人、ゆくえ不明者16人、ひ災家屋28439戸)

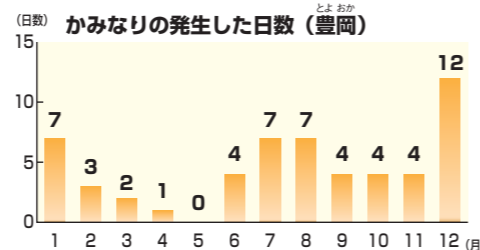
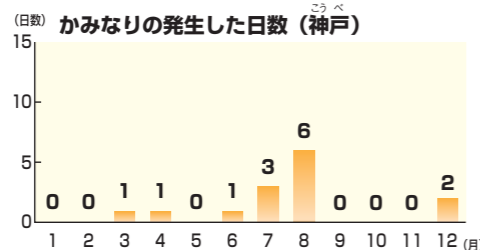


▲高砂市 (写真提供 神戸新聞社)



## 兵庫県の気象 — 日本海側の冬のかみなり —

かみなりは夏の入道雲の時期に多いと思われていますが、日本海側は冬場に多い傾向にあります。



気象庁の観測データ(2005年)による

台風が遠くを通っても油断できないね。



水害は地形との関係が深いようだね。



## 台風の経路図

